

環境時代の ビルディングエンベロープを 考えるシンポジウム IN 東大

— 住宅断熱の新たな水準について考える —

(公社)日本建築士会連合会 CPD認定プログラム (4単位)

日時

平成25年11月22日(金)
13:20~17:00 (開場12:30~)

場所

伊藤国際学術センター
(伊藤謝恩ホール)

「住宅・建築物の省エネ基準」の大改正、「エコまち法」の制定、「建材の省エネ・トップランナー制度」の創設など、住宅の省エネ性能や断熱性能に関わる政府の施策はますます拡大・強化されつつあります。本年6月に公表された政府の「日本再興戦略」にも「住宅・建築物の省エネ基準は2020年までに段階的に適合義務化する」と謳われています。

断熱・気密性に優れたビルディング・エンベロープは住宅・建築の省エネルギーの基本であり、豊かで快適な室内環境を提供してくれます。しかし、エンベロープの断熱性能に関する合理的な水準については学術的にも社会的にも確定されているわけではありません。今回改正された省エ

ネルギー基準における断熱水準は、1999年の次世代省エネルギー基準において定められた水準です。当時の我が国のエネルギー供給に関わる状況は、現在に比べれば、言うまでもなく「余裕」があるものでした。ですから、現行の省エネルギー基準の断熱水準はあくまで議論の出発点として位置づけ、義務化を想定した断熱水準や将来のあるべき断熱水準について自由に議論することは、現在は絶好のタイミングであると言えます。

このような重要なテーマを皆様と共に考える契機として、国の施策に係わる学識者、住宅の設計・供給者や建材メーカー、消費者サイドに立つ方々から、住まいを創るエンベロープ・デザインという観点から住宅断熱の新たな水準について議論していただくために、下記によりシンポジウムを開催することとなりました。大勢の皆様のご参加を期待しています。

13:20 ~ 13:30

シンポジウム代表挨拶

坂本 雄三 (独立行政法人建築研究所理事長)

13:30 ~ 14:00

講演 1 「住まいの省エネルギーと居住環境の質の両立を目指して」

講師：鈴木 大隆 (北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 環境科学部長)

14:00 ~ 14:30

講演 2 「健康に喜ばず住まいの設計手法」

講師：小泉 雅生 (首都大学東京 都市環境学部 教授)

14:30 ~ 15:00

講演 3 「日本の住宅省エネ・特殊事情」

講師：南 雄三 (住宅技術評論家)

休憩 (15:00~15:10)

15:10 ~ 16:55

パネルディスカッション ~義務化を想定した断熱水準や将来あるべき断熱水準について考える~

コーディネーター：坂本 雄三 (前掲)

パネラー：鈴木 大隆 (前掲)

小泉 雅生 (前掲)

南 雄三 (前掲)

佐藤 悦子 (ミサワホーム株式会社 商品開発部 第一設計課 設計課長)

小谷 美樹 (積水ハウス株式会社 大阪南支店 統括設計長)

白瀬 哲夫 (YKK AP株式会社 経営企画室 事業開発部 商品開発担当部長)

16:55 ~ 17:00

閉会挨拶 宮島 正紀 塩ビ工業・環境協会理事

参加費

無料

(定員:400名)

協賛：板硝子協会、(一社)健康・省エネ住宅を推進する国民会議、(一社)住宅生産団体連合会、樹脂サッシ工業会、断熱建材協議会、東京良質エコリフォームクラブ、(一社)日本建材・住宅設備産業協会、(一社)日本サッシ協会、(一社)日本住宅リフォーム産業協会(JERCO) (一社)JBN

後援：国土交通省、経済産業省、(独)建築研究所、(独)住宅金融支援機構、(独)都市再生機構、(一社)日本建築学会、(公社)日本建築士会連合会
主催：塩ビ工業・環境協会

会場のご案内



交通のご案内

- 地下鉄丸の内線「本郷三丁目駅」 徒歩8分
- 地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」 徒歩6分
- 地下鉄千代田線「湯島駅」または「根津駅」 徒歩15分

参加申込締切り

- 定員（400名）になり次第、締切らせて頂きますのでお早めにお申込下さい。
- 折り返し受理書をE-mailまたはFAXにてご連絡致しますので、当日ご持参下さい。
- 問合せ先 TEL：03-3297-5601（塩ビ工業・環境協会 高村／長縄）
下記によりFAX（03-3297-5783）にてお申込下さい。

参加申込

環境時代のビルディングエンベロップを
考えるシンポジウム IN 東京大学

FAX 03-3297-5783

フリガナ			
ご芳名			
会社名		ご所属・お役職	
電話番号		FAX番号	
E-mail		CPD番号 (認定の必要な方のみ)	